

令和4年度認定

ひょうごプラチナ成長企業 記念誌



ひょうご産業活性化センター

井上ヒーター 株式会社

液ガスタイプのクーラー・ヒーターの設計・製造・販売

代 表 者：代表取締役 井上 雅晴 所 在 地：西宮市西宮浜4-1-43
資 本 金：1,000万円 創 業：明治45年6月（設立S41.4）
従業員数：34名 電話番号：0798-37-0501

ホームページ <http://www.ihc-japan.co.jp>



現業の生産方式を維持したままで一品一様の 個別生産と量産体制を併行した運営方法の確立

1 会社概要

- 熱交換器は、主に空気やガス等の媒体の加熱・冷却を目的とした製品で、空調器・乾燥設備・乾燥機器等に組み込まれ使用されています。業界のパイオニアとして、化学工業、薬品、食品、繊維など、大手・中小を問わずあらゆる業界に納入実績があります。約1世紀前に「エロフィンヒーター」と呼ばれる熱交換器を開発、以来専門メーカーとして技術革新に取り組んでいます。クライアントからの依頼を受け、一品一様の熱交換器を設計、社内で製造することを特長としていましたが、近年では、その生産方法を維持したままで、量産体制を併行させた運営方法を確立させてまいりました。

2 PRポイント

- 急速に今後成長が続く電気自動車へのシフトに向けて、リチウム電池の分野で大量かつコンスタントに熱交換器が色々な工程において必要とされています。量産対策の短納期に対してリードタイムを確保するために、プレス加工を外注化して加工時間の短縮化を図り、空き時間は大量生産の物への加工へ充当しています。フィン差込の工程は1台増設し、ドリルマシンによる穴あけ加工も新型機により1.5倍の加工スピードの向上により対応し、他にはベンダーの購入による外注量の減少と内製化の効率化を図っています。

3 プラチナ成長企業に取り組んだ感想・今後の抱負

- プラチナ成長企業に取り組む中、コロナのパンデミックに見舞われました。そこで従来から取り組んでいるテレワークを一層推し進めるために「ひょうご仕事と生活センター」の補助金を活用して営業、設計にパソコンを導入してテレワークを進めました。
- またこれを機に工場のDXの一環として工程管理ソフトを導入しました。今はまだ試行錯誤していますが、工程管理を進めるとともに勤務時間のインターバルに取り組み「勤務時間インターバル導入コース」を用いて「働き方改革推進助成金」を申請することにしました。
- 幸いなことにほとんどの従業員が工場近郊に居住している関係もあり、その結果として、仕事とくらしのワークバランスを整えたとされ「ひょうご仕事と生活の調和推進企業」の認定企業に選出されることになりました。



◀ 増設したプレス機



▲ 増設したベンダーマシン



▲ 増設したドリルマシン



▲ 増設したプレス機



▲ 各々が進捗度を入力し、朝礼で確認する。



▲ コロナや産休でも、営業・技術がテレワークで仕事ができる体制を整えた。